

10月29日 開催

アドバイザースタッフ研究会主催 2017年秋期研修会
「スポーツニュートリション編」参加者 アンケート

アンケート回答者 53名

「アンチドーピングに関する質問」

Q1 あなたは、アスリート(スポーツ競技選手)からアンチドーピングに関して相談を受けたことがありますか？

- A. 受けたことがある。 B. 受けたことはない。

Q2 (Q1で、「A. 受けたことがある」と答えた方に質問します。)

「このサプリメントを使用しても問題ないか？」あるいは、「このサプリメントはドーピングフリーか？」との質問を受けたことがありますか？

- A. ある B. ない

Q3 (Q2で、「A. ある」答えた方に質問します。)

そのサプリメントが使用できるか否かの判断は、どのように調べて判断しましたか？

具体的にお答えください。

Q4 サプリメントのドーピングに対する使用可否の保証は、必要と思いますか？

- A. 必要 B. 不要 C. どちらでもよい

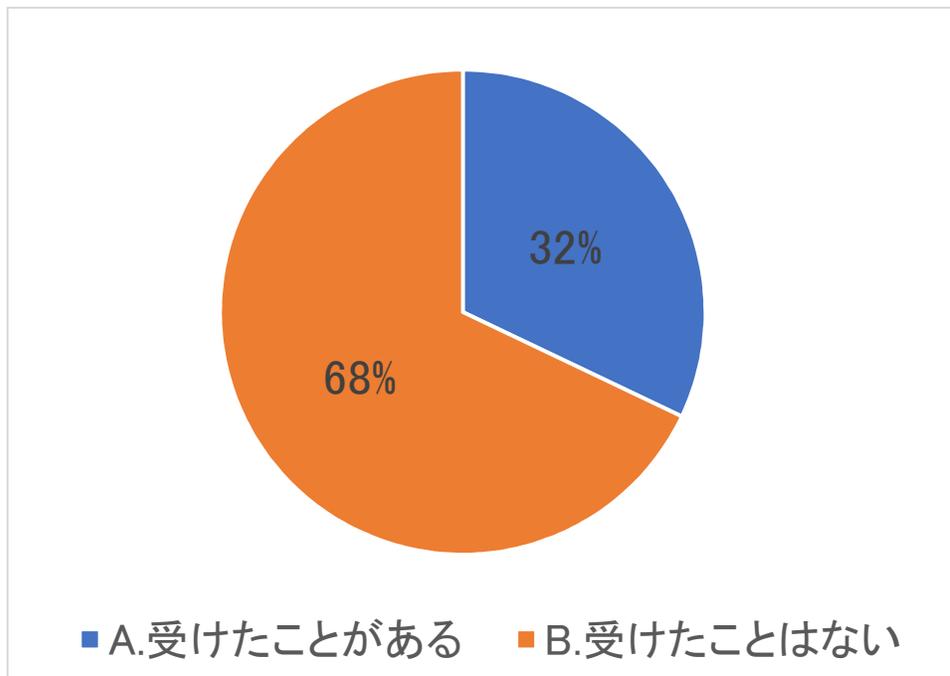
Q5 サプリメントのドーピングフリーの認証を行うのは、どのような団体が良いと思いますか？

- A. (公財) 日本アンチドーピング機構(JADA) B. (公財) 日本体育協会
C. (公財) 日本健康・栄養食品協会 D. 民間第三者団体
E. その他 ()

Q6 サプリメントのアンチドーピングに関し、アドバイザースタッフとして係わるのはどのようなことだと考えますか？ 具体的にお書きください

Q1 あなたは、アスリート(スポーツ競技選手)からアンチドーピングに関して相談を受けたことがありますか？

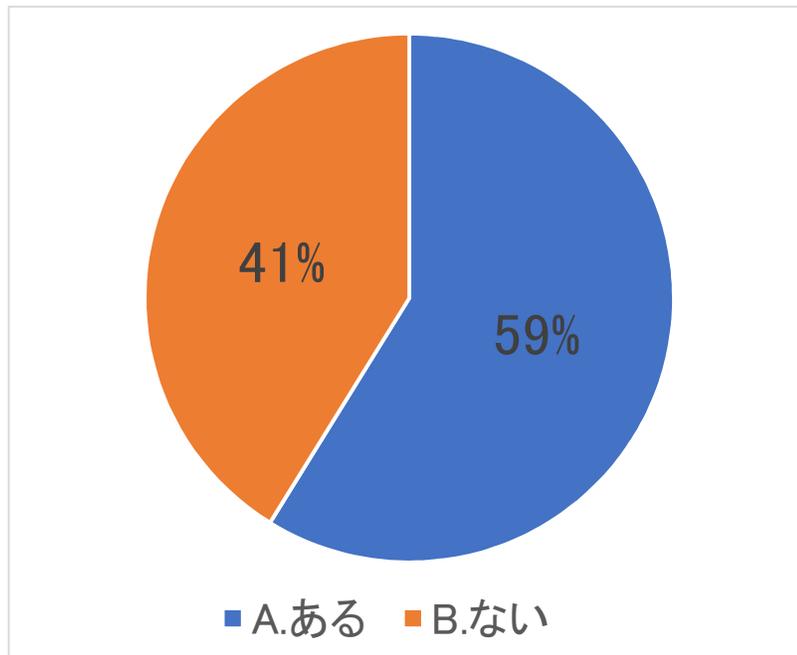
| | |
|------------|----|
| A.受けたことがある | 17 |
| B.受けたことはない | 36 |



Q 2 (Q1で、「A. 受けたことがある」と答えた方に質問します。)

「このサプリメントを使用しても問題ないか？」あるいは、「このサプリメントはドーピングフリーか？」との質問を受けたことがありますか？

| | |
|------|----|
| A.ある | 10 |
| B.ない | 7 |



Q3 (Q2で、「A. ある」答えた方に質問します。)

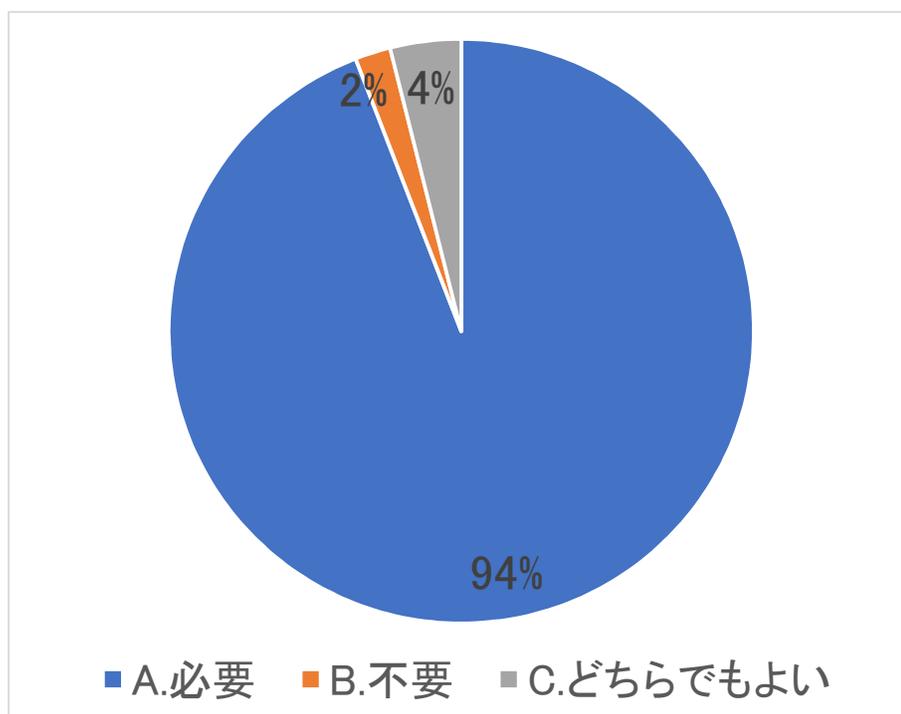
そのサプリメントが使用できるか否かの判断は、どのように調べて判断しましたか？

具体的にお答えください。

| |
|--|
| ネットを含めた情報と自分の仕事の範囲での有識者の意見を聞き、情報を流す |
| ①JADA認証を取っているか、アメリカやイギリスetc制度が高いと言われている検査機関のデータを取得しているかの確認をまず行う。 ②一方で選手には求める事(機能など)を確認すると共に、過去に実施した企業調査結果(栄養評価)、メディカルデータをスポーツドクターと一緒に確認して、サプリメント会社に問い合わせを行う。特に有効性などについてはエビデンスを説明してもらい、調査研究の限界や現時点で確実にいえることがどの範囲かをメディカルと共有する |
| JADA認証があるかどうかで判断→今後は少し考え方自体、見直す必要を感じた |
| 禁止物質が含まれているか、まず表示成分で確認するが、サプリメントは表示以外の成分も含まれているため、JADA認定商品以外は勧めない。Global DPO 薬剤師のためのアンチドーピングガイドブック等で成分確認 |
| アミノ酸(生体内、)なので、特に問題ないものであるか、所属の協会にも確認するようにも話した |
| 企業のお客様窓口への入電だったので、所属チームのチームドクターもしくは、アンチドーピング協会に相談してほしいとお願いした。 |
| JADA公認のサプリメント以外は、もし何かドーピングになる物質が入っていても責任とれないので、勧めません。 |
| 原材料、成分分析の結果で |

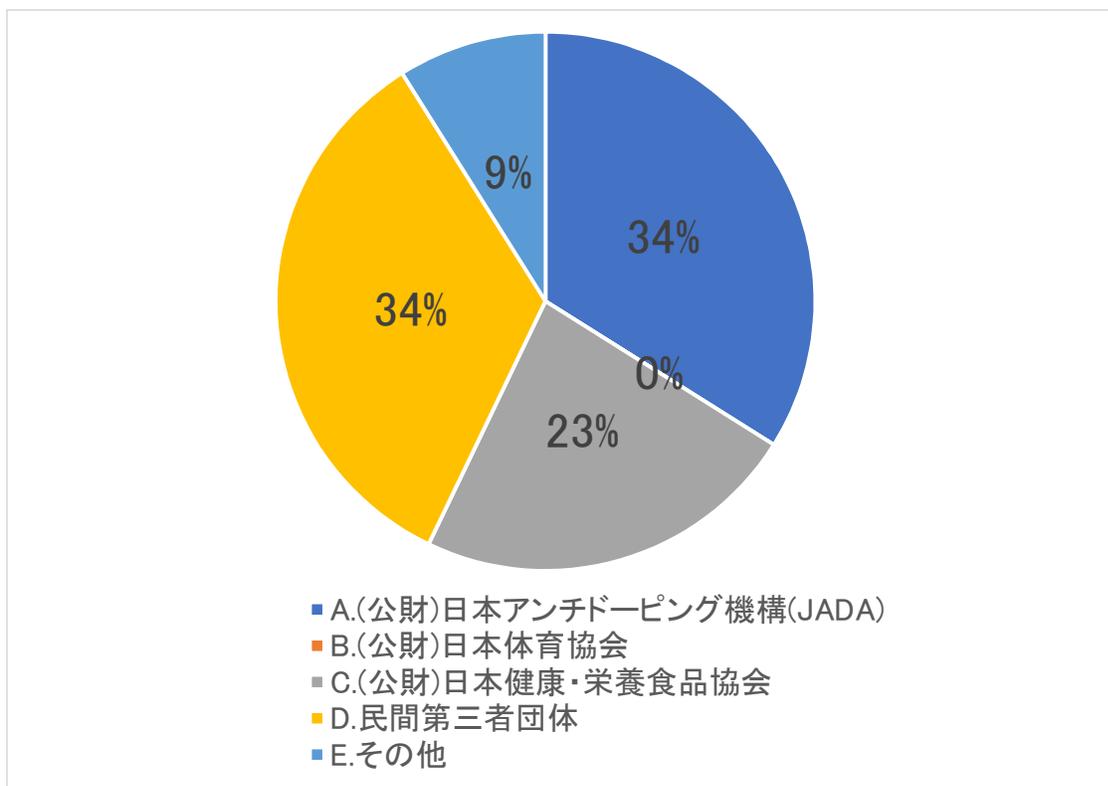
Q4サプリメントのドーピングに対する使用可否の保証は、必要と思いますか？

| | |
|-----------|----|
| A.必要 | 48 |
| B.不要 | 1 |
| C.どちらでもよい | 2 |



Q5 サプリメントのドーピングフリーの認証を行うのは、どのような団体が良いと思いますか？

| | |
|--------------------------|----|
| A.(公財)日本アンチドーピング機構(JADA) | 19 |
| B.(公財)日本体育協会 | 0 |
| C.(公財)日本健康・栄養食品協会 | 13 |
| D.民間第三者団体 | 19 |
| E.その他 | 5 |



その他の具体的な回答

| |
|--|
| 世界に通じる基準と費用など、公平な団体が良いと思います。 |
| サプリメント製造販売会社が科学的に証明するものを添付して違反の際の条件も付ける |
| 今回の話を聞いて、判断しかねる状況です。 |
| 今後は考えたい |
| 日本薬剤師会、日本薬学会 |
| JADAが独立した機関があるべきという前提で、(利益相反がないという前提で) |
| セミナー前にアンケートを記入したので、実態を知りませんでした。参考になりました。明日、会社で本日伺ったお話を報告します。社内FAQも変更手配を採ります。 |
| トリプル、ダブルCHECK D民間→Aでチェック、Cでチェック→ 認証 |
| 国家もしくはそれに準ずる団体 |

Q6 サプリメントのアンチドーピングに関し、アドバイザースタッフとして係わるのはどのようなことだと考えますか？
具体的にお書きください

| |
|---|
| 情報発信 |
| サプリメントを使用する世代が学生さんであつたりすると知らずに使用してしまう恐れも有、それによって大会などで影響になる為、そのアドバイスをできることが必要だと考えます。 |
| スポーツクラブ現場でのアドバイス、子供の部活、スポーツ系サプリメント開発、一般の方向け |
| 薬剤師でもあるので、医療用医薬品、OTC医薬品、サプリメントを含めた相談に関わっていきたいと思います。 |
| どこに気を付けて選ぶべきかを考える事 |
| 現在サプリメントの企画開発を行っているので、ドーピングフリーかどうか、消費者からの問い合わせが非常に多いので、認証を受けたいが、費用が高すぎて運用できない状況。自分自身も知識をつけていかなければならないのですが、もっと一般的に使用できるようにしてほしい。 |
| サプリメントの使用に関して、可否を気軽に相談できること。プロのスポーツ選手だけでなく、うっかりドーピングを防ぐ必要のある選手はおおくいるため、その選手のかかりつけのアドバイザースタッフとして相談を受ける事(仙人とまではいなくても) |
| 客観的データに基づいたアドバイス、しかし客観的データはどれほどあるのか、関係機関の努力に期待する。 |
| 選手が安全に健全に全力で戦えるようにサポートをする。 |
| ・スポーツファーマシスト(JADA認定)との連携 ・日本薬剤師会との連携 |
| ドーピングについて、今後話題がふえそうですので、きちんと正しく伝えられる様、準備したい。大変参考になりました。 |
| ドーピングに関する基礎知識を身に付ける。日常生活などでも気を付けなければいけないものなどを伝えられるようになるといいと思う。 |
| スポーツ選手のみでなく、誰もが安心安全に摂取できる製品でないといけないと思う |
| 選手にサプリメントを摂るなど不必要とは必ずしも言えない。必要な場合に、ドーピングフリーの商品を提示することは、アドバイザースタッフとスポーツファーマシストがやはり行うべき。アドバイザースタッフもドーピングについての知識を持たねばならない。 |
| 知らないといけないことだと思いました。 |
| 発表されている成分に関してのみ答える |
| ドーピング成分であるがどうかに関わらず、アスリート(一般も含め)が安全に適切にサプリメントを選択、利用できるように、支援すること。そのための情報開示の必要性を業界に訴求していくこと。 |
| 公的機関で認証して、表示を正しくすることが前提。それであれば、アドバイザースタッフとして指導、説明ができる。単にアドバイザースタッフの判断だけでは、大きな間違いをする可能性が高い。 |
| アンチドーピングに関しては、薬学的知識が必要と感じています。私は栄養士なので、なかなか難しく思います。 |
| サプリメントとしてのアンチドーピングにアドバイザースタッフが関わることができれば、アスリートももっと安心してサプリメントの相談を受けることができうっかりドーピングを防げると思います。 |
| 選手が知らずに引用し、選手生命が短くなるようなことがないよう、サポートすること。 |
| アドバイザースタッフとしてかわるのは、知識レベルに差がありすぎなので、専門外とすべき。よりキャリアUPした資格の範囲内が望ましいでしょう。 |
| 使用するうえでの有用性をアスリートに伝える。加えて、使用不可品のあたりをつける |
| 結局サプリメントは自己責任になってしまうと思う。 |
| 栄養サポートにおいてクライアントに周知する(選手、監督、保護者) |